

改訂版

NEW マーク・記号の 大百科

街中交通、地図

4

ISBN978-4-05-501317-8

C8301 ¥2800E

1450131700

定価: **本体2,800円**
※税が別に加算されます。



9784055013178



1928301028006

改訂版
NEW

改訂版

NEW 監修：太田幸夫
マーク・II

Gakken

マーク・記号の大百科 4 街や交通、地図

 **Gakken**



街で見つけた マークや記号



交通の マークや記号



地図の記号

もくじ

空港ターミナルのマーク…………… 4



街で見つけたマークや記号…………… 6

複合施設にあるマーク…………… 7

公共・一般施設のマーク…………… 8

商業施設のマーク…………… 10

病院のマーク…………… 11

観光・文化・スポーツ施設のマーク…………… 12



交通のマークや記号…………… 14



交通機関などのマーク…………… 15

案内標識…………… 16

警戒標識…………… 18

規制標識…………… 20

指示標識…………… 22

補助標識…………… 23

道路にかかれた規制標識…………… 24

道路にかかれた指示標識…………… 26

空港で見かけるマークや記号…………… 28

駅やホームのマークや記号…………… 30

電車や線路に関するマークや記号…………… 32

時刻表のマークや記号…………… 34



地図の記号…………… 36

地図記号のできかた…………… 37

いろいろな建物を表す地図記号…………… 38

いろいろな地域を表す地図記号…………… 39

道路や鉄道、町や市などの境界を表す

地図記号…………… 40

いろいろな地形を表す地図記号…………… 41

いろいろな案内図の記号…………… 42

鉄道路線図に使われている記号…………… 44

海図に使われている記号…………… 45

さくいん…………… 46



この本を読むみなさんへ 太田幸夫

私たちの身の回りには、たくさんのマーク・記号があります。家にある電気製品、学校で使う文房具やコンピュータ、図書館にある本、駅にある案内表示、街にある自動販売機や道路標識など、さまざまなマーク・記号が思い浮かぶでしょう。

マーク・記号は、「色や形で意味を表すしるし」です。そして、それを目にした人に、何らかの意味を伝えるという役割を持っています。人に何かを伝えることを、コミュニケーションといいます。コミュニケーションの道具として、まず思い浮かぶのは、ことばや文字かもしれませんが、ことばや文字も広い意味では、マーク・記号にふくまれますが、ことばや文字だけでは、伝えたいことがじゅうぶんに伝わらないこともあります。ことばの通じない外国人や文字の読めない小さい子とコミュニケーションをとることを想像すればわかるでしょう。そんなときに、見ただけで意味をイメージできる、ことばや文字以外のマーク・記号が大きな役割をはたします。

このシリーズ、『改訂版 NEWマーク・記号の大百科』では、身の回りにあるマーク・記号を取り上げ、その意味や成り立ち、役割などを説明しています。この本を読むことで、マーク・記号についての知識を深めるとともに、マーク・記号が持つ大きな可能性に気づいてもらえればと思っています。

現代は、国際化が進み、さまざまな国の人たちの交流がさかんです。また、地球環境を守ることにともに関心が高まっています。いっぽうで、大地震や津波などの災害も心配されています。じつは、マーク・記号は、こうしたこととも深い関わりを持っています。まさに現代は、マーク・記号がなくてはならない時代だといえるでしょう。このシリーズの「NEW」には、たんに「新しい」という意味だけでなく、「時代が求めることに対応している」という意味がこめられているのです。

このシリーズの使い方

『改訂版 NEWマーク・記号の大百科』では、巻ごとにテーマを決め、そのテーマに関するマーク・記号を取り上げています。マーク・記号の意味や成り立ち、役割を説明するとともに、使われている製品などの写真をのせています。身の回りのマークや記号について調べる際の参考にしてください。どのページにどんなマーク・記号のっているかを調べるときは、もくじやさくいんをひいてみましょう。

注意

- マーク・記号は、法律で定められているもの、JIS（日本産業規格）やISO（国際標準化機構）の規格があるもの、業界の団体や企業が独自につくっているものなどがあります。ここでは、できるだけ、マーク・記号の制定者・団体が定めたものを紹介しています。
- マーク・記号の名前は、原則として正式名称にしています。
- 印刷用インクの関係で、指定されている色と少しちがう色になっているマーク・記号があります。
- 色の決まりのないものは、独自につけている場合があります。
- JISの規格があるマーク・記号は、そのことがわかるように表示しています。

※本書は、『NEWマーク・記号の大百科』(2016年刊)を改訂したものです。
※特に断りのない場合は、2020年1月現在の情報に基づいています。

街で見つけたマークや記号

街には、公共施設をはじめ、ビルや病院など、さまざまな場所でマークや記号が見られます。よく使われるマークは、案内用図記号として、JIS（日本産業規格）に定められています。

複合施設のマーク

施設への道案内や注意を呼びかける表示などが、マークを使って表されている。

森ビル



商業施設のマーク

レストランのマーク。ナイフとフォークをデザインし、文字がわからなくても、どんな店かわかるようにしている。

観光・文化・スポーツ施設のマーク

博物館などの施設の場所を示すマークが使われた街の案内板。



六本木ヒルズ 2015年11月撮影

複合施設にあるマーク

複合施設には、店やレストラン、美術館、映画館、会社などがたくさん集まっていて、たくさんの人が訪れます。訪れる人が迷わずに目的地へ行ったり、エレベーターやトイレなどの設備、駅がどこにあるかを確かめたりできるように、マークを使って案内をしています。

六本木ヒルズにあるマーク

東京の六本木ヒルズは、高いビルがあり、ビルの中には商業施設、文化施設、ホテル、企業のオフィスなどがあります。



↑エレベーターの入り口横に、車いすや自転車での利用ができることを表すマークがある。



↑交通機関や、施設内のエリアの方向を示す表示。

↑六本木ヒルズ。高さ238m、地上54階建てのビルには、多くの施設がある。



↑高い位置にあり、見やすいマーク。



↑トイレなどの場所を表すマーク。



↑地図とマークを対応させ、わかりやすく案内している。

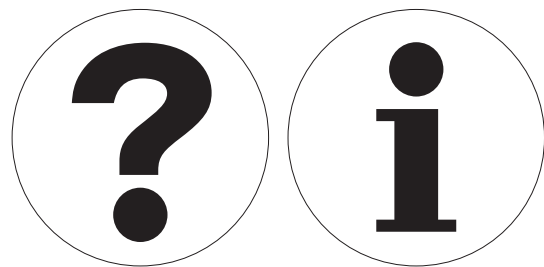


↑ビルの中にある表示。通路の天井に設置され、混雑しているときも見やすい。
↑注意を呼びかけるマークや、禁止されていることを示すマークのあるエスカレーター。

六本木ヒルズ 2015年11月撮影

公共・一般施設のマーク

役所や博物館、ホテルなど、さまざまな人が利用する公共の施設などで、案内用に使われているマークは、JIS（日本産業規格）に定められている案内用図記号です。案内用図記号は、文字がわからなくても、意味していることがわかるよう、絵をもとにしてつくられています。

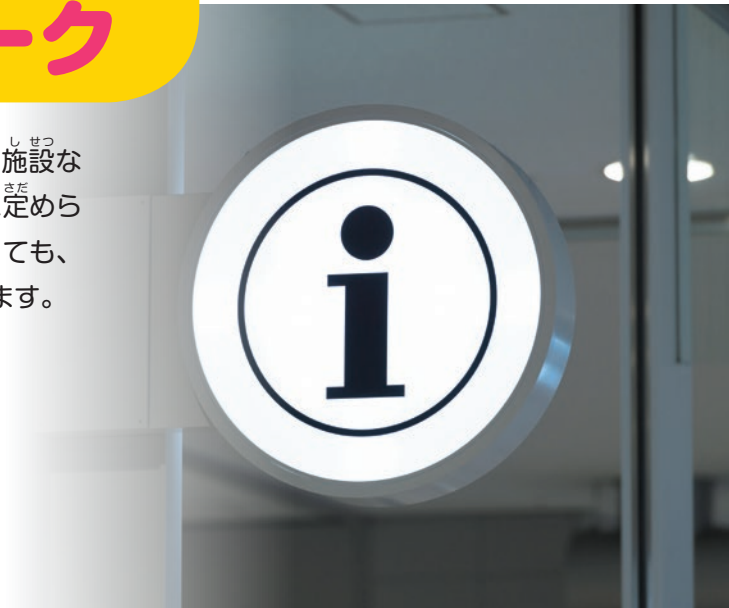


案内所

JIS Z8210 5-1-2

案内

JIS Z8210 5-1-1



案内のマーク。

©PIXTA



お手洗

JIS Z8210 5-1-6

男子

JIS Z8210 5-1-7

女子

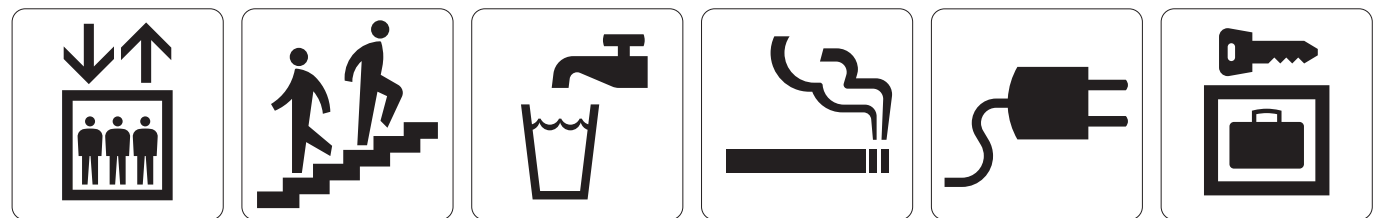
JIS Z8210 5-1-8

上りエスカレーター

JIS Z8210 5-1-29

忘れ物取扱所

JIS Z8210 5-1-14



エレベーター

JIS Z8210 5-1-27

階段

JIS Z8210 5-1-31

飲料水

JIS Z8210 5-1-11

喫煙所

JIS Z8210 5-1-12

充電コーナー

JIS Z8210 5-1-55

コインロッカー

JIS Z8210 5-1-18



カート

JIS Z8210 5-1-26

障害のある人が使える設備

JIS Z8210 5-1-9

スロープ

JIS Z8210 5-1-10

チェックイン／受付

JIS Z8210 5-1-13

手荷物一時預かり所

JIS Z8210 5-1-17

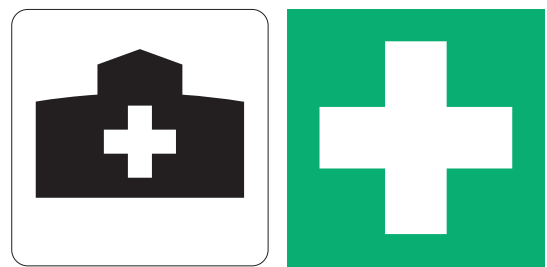
クローク

JIS Z8210 5-1-33



トイレの入り口にあるマーク。

©PIXTA

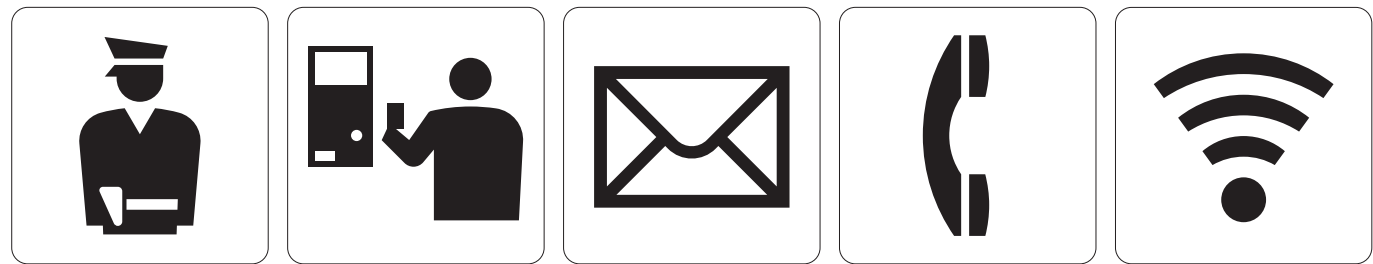


病院

JIS Z8210 5-1-3

救護所

JIS Z8210 5-1-4



警察

JIS Z8210 5-1-5

きっぷうりば／
精算所

JIS Z8210 5-1-16

郵便

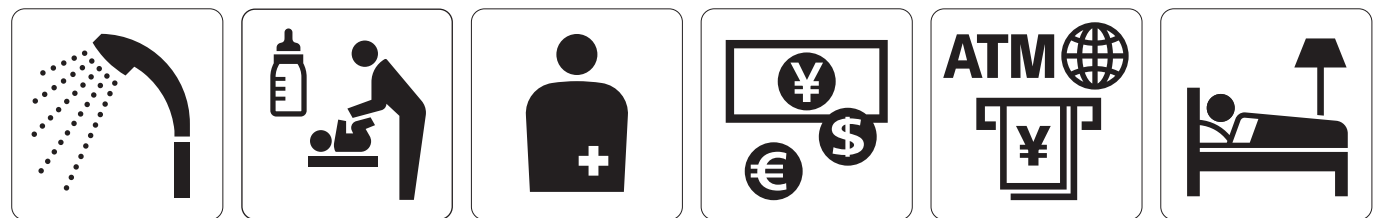
JIS Z8210 5-1-23

電話

JIS Z8210 5-1-24

無線LAN

JIS Z8210 5-1-54



シャワー

JIS Z8210 5-1-36

ベビーケアルーム

JIS Z8210 5-1-32

オストメイト用設備／オストメイト

JIS Z8210 5-1-58

銀行・両替

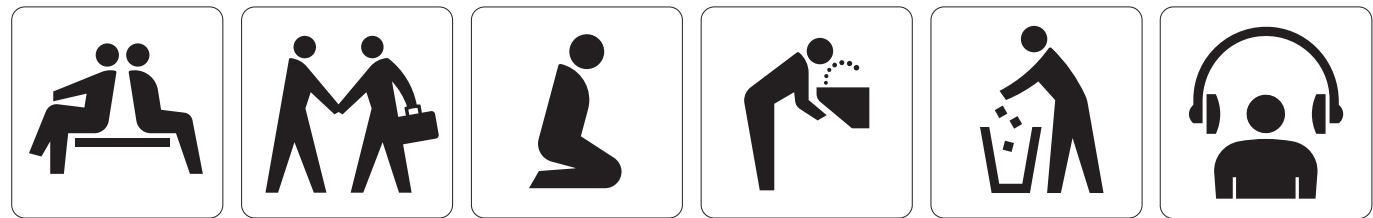
JIS Z8210 5-1-21

海外発行カード対応ATM

JIS Z8210 5-1-57

ホテル／
宿泊施設

JIS Z8210 5-1-15



休憩所／
待ち室

JIS Z8210 5-1-19

ミーティング
ポイント

JIS Z8210 5-1-20

礼拝室

JIS Z8210 5-1-38

水飲み場

JIS Z8210 5-1-39

くす入れ

JIS Z8210 5-1-12

イヤホン
ガイド

JIS Z8210 5-4-12



赤十字のマーク

赤十字マークは、病院のイメージがありますが、正しくは、戦争や紛争などで傷ついた人びとと、その人たちを救護する軍の衛生部隊や赤十字の救護員、施設などを守るためのマークです。赤十字マークに宗教的な意味はありませんが、イスラム教徒の中にはキリスト教をイメージする人びともいるため、イスラム教の国では赤新月マークを使います。また、2007年に新しくひし形のレッドクリスタルが加わりました。



赤十字

赤新月

レッドクリスタル*

日本赤十字社

*レッドクリスタルはイスラエルで使われている。

観光・文化・スポーツ施設のマーク

JISの案内用図記号は、ほかにさまざまな場所で見られます。公園、博物館、美術館、スポーツ施設、歴史的建造物など、いろいろなものがマークで表されています。街の案内板などには、案内用図記号の形を少し変えたマークが使われていることもあります。

→動物園や博物館などがある公園の案内板。いろいろな施設の場所がマークで示されている。



① 展望地 JIS Z8210 5-4-1	② 海水浴場/プール JIS Z8210 5-4-6	③ スキー場 JIS Z8210 5-4-7	④ キャンプ場 JIS Z8210 5-4-8	⑤ 温泉 JIS Z8210 5-4-9b
⑥ 公園 JIS Z8210 JA-2-1	⑦ 博物館/美術館 JIS Z8210 JA-2-2	⑧ 歴史的建造物1 JIS Z8210 JA-2-3	⑨ 歴史的建造物2 JIS Z8210 JA-2-4	⑩ 歴史的建造物3 JIS Z8210 JA-2-5
⑪ 自然保護 JIS Z8210 JA-2-6	⑫ スポーツ活動 JIS Z8210 JA-2-7	⑬ スカッシュコート JIS Z8210 JA-2-8	⑭ Tバー*リフト JIS Z8210 JA-2-9	⑮ 腰掛け式リフト JIS Z8210 JA-2-10



自分でマークを考えてみよう

場所やサービスを表すマークや記号は、利用者が見やすく、使いやすいよう、さまざまな工夫がされています。みなさんも身の回りで使えるマークを考えてみましょう。学校で友だちと使うマーク、家で家族と使うマークなど工夫してつくってみましょう。

① 目的を考える

まずは、何を示すマークか考えましょう。目にする人みんなに役立ち、活用してもらうためにも、毎日の生活をふり返って考えます。



冷水機の場所を示すマークをつくろう。

② 使う場所を考える

目的が決まったら、その際、どこに表示すれば有効かを考えます。最も効果的で、そのマークがあれば便利な場所を考えましょう。



ろうかの曲がり角に表示するとわかりやすい。

③ マークのもとになる絵がらを考える

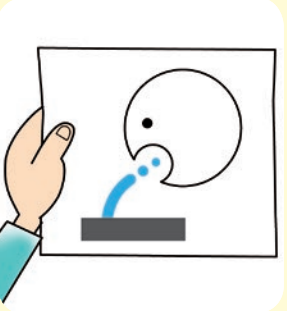
マークは、使う人みんなにわかりやすいものがよいので、その動作や目的に関係のある絵がらをもとにするのがよいでしょう。どんな状況で使うか、何を使うか、などを考えます。



水を飲む場面の絵をもとにしよう。

④ デザインする

マークのもとになる絵がらを組み合わせたり、省略したりしてデザインを考えます。そのものの絵でなくても、頭文字を入れたり、矢印や×、○などの記号を使うなど工夫してデザインしましょう。



絵を簡略化しよう。

学校で使われているオリジナルマーク

独自のマークを使い、学校生活に活用している小学校があります。



↑→手洗い所に置かれてい、表示用の立方体。



↑図書館の書棚に置かれた、本の整理を呼びかけるマーク。

交通のマークや記号



道路のマーク

安全でスムーズな交通のために、自動車や自転車、歩行者に向けたさまざまな標識が設置されている。

道路、鉄道、空港など、人や物を運ぶ手段や設備を交通機関といいます。交通機関は、多くの人が利用するので、だれにでもわかりやすいマークや記号を使い、確実に目的の場所に行けるような工夫が取り入れられています。道路標識のように、法律で決められているマークや記号もあります。



右方へ注意

JR東日本東京駅 成田国際空港

交通機関などのマーク

JIS（日本産業規格）の「案内用図記号」には、交通機関などを表すものもあります。道路の案内標識などにも使われているので、目にすることも多いでしょう。JISの「案内用図記号」と少しちがったマークもたくさんあり、地図の中などにもよく似たマークが使われています。

街中にある案内標識。交通機関の名称とマークが表示されている。



①鉄道／鉄道駅
JIS Z8210 5-2-2



①バス／バスのりば
JIS Z8210 5-2-5



①レンタカー
JIS Z8210 5-2-7



①自転車
JIS Z8210 5-2-8



①レンタサイクル／シェアサイクル
JIS Z8210 5-2-20



①タクシー／タクシーのりば
JIS Z8210 5-2-6



①船舶／フェリー／港
JIS Z8210 5-2-3



①ヘリコプター／ヘリポート
JIS Z8210 5-2-4



①ロープウェイ
JIS Z8210 5-2-9



①ケーブル鉄道
JIS Z8210 5-2-10

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団



特徴を生かしたマーク

地下鉄やモノレールは、JISの案内用図記号とは少しちがった形で表示されていることがあります。それぞれの列車の特徴を、マークに反映したものです。



←東京の地下鉄のマーク。電車がトンネル内を走る絵をもとにしている。
→モノレールのマークは、電車が1本の線路の上を走る絵をマーク化している。



鉄道のマーク

鉄道の駅には、電車が発着するホームを、色や数字、マークを使って案内する表示板が設置されている。

空港のマーク

外国の人も多く利用する空港では、ことはわからなくても理解できるようなマークが使われている。



駅やホームのマークや記号

駅は大勢の人が利用する場所なので、わかりやすい案内が必要です。大きな駅は乗り場がいくつもあり、案内がないと迷ってしまいます。電車が入ってくるホームには、電車の発着時刻を知らせる案内だけでなく、安全を守るための表示も必要です。このような案内や表示のために、いろいろなマークや記号が使われています。

電車の時刻などの表示

駅のホームには、電車の発着時刻を知らせる案内板があります。駅の入り口付近にも発車時刻の案内板が設置されていることがあります。



↑行き先、列車名、発車時刻、停車駅などが表示されている。 JR東日本東京駅

乗り場や施設の案内のためのマーク

乗り場を示す案内のほか、みどりの窓口やトイレの案内など、駅にはたくさんの案内があり、いろいろなマークが使われています。



↑みどりの窓口の案内。 JR東日本東京駅



↑マークを使った新幹線の乗り場案内。 JR東日本東京駅



↑駅構内のトイレのマーク。 JR東日本東京駅

改札にあるマーク

たくさんの人が行き交う改札口は、利用者が安全で円滑に使えるよう、進入可・不可、ICカード専用など、さまざまなマークが表示されています。

→自動改札機。進入可・不可を示すマークが自立つように表示されている。



JR東日本東京駅



↑きっぷを入れる場所を示すマーク。 JR東日本東京駅



↑ICカードのタッチパネル。 JR東日本東京駅

列車にあるマーク

お年寄りや体の不自由な人、妊娠している人などに席をゆずるよう呼びかける優先席マークなど、列車にもさまざまなマークが表示されています。



障害者のための国際シンボルマークとベビーカーマーク。車いすやベビーカーのスペースであることを示す。

JR東日本

非常通報ボタン。助けを求める意味の「SOS」の文字と、ボタンをおす指の絵をマーク化している。

ホームにあるマーク

電車が行き交い、人が大勢集まるホームでは安全性が重視されます。乗り降りで事故が起きないように、注意をうながすマークやスムーズに移動するための案内があります。



↑ホームドアから乗り出さないようになどの注意を呼びかけるマーク。 JR東日本東京駅



↑エレベーターの場所を示す案内。 JR東日本東京駅



↑線路に人が落ちるなどの緊急時に通報する非常停止ボタンの場所を示す案内。 JR東日本東京駅



↑列車ごとに乗客が並び位置を色別の線で案内する。 JR東日本東京駅

→線路に落とし物をした場合は、駅員に取ってもらうことを呼びかける案内。



JR東日本東京駅

地図の記号

私たちがよく目にする地図は、国土地理院という国の機関がつくった地図をもとにしています。地図に使われる記号も、国土地理院の地図で使われているものが、基本です。そのほかにも、目的に合わせていろいろな地図がつけられ、記号が使われています。

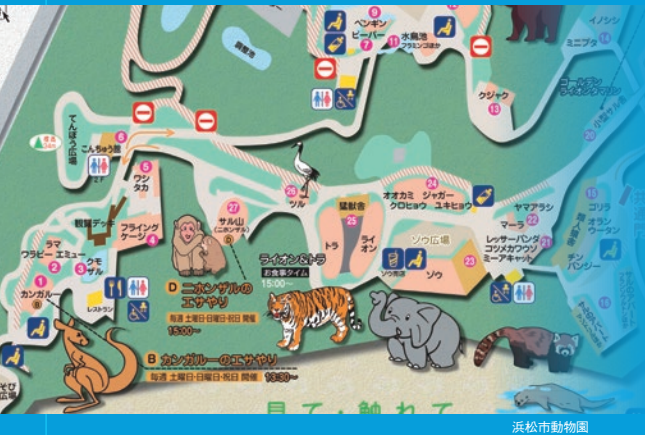


地形図の記号

国土地理院がつくった2万5000分の1の地形図。地図記号によって、どこに何があるかがわかる。

いろいろな地図の記号

動物園の案内マップに使われている記号。



浜松市動物園



鉄道路線図の記号

複雑な地下鉄の乗りかえ駅などを、わかりやすく表示した案内板。

©PIXTA

地図記号のできかた

国土地理院の地図記号には建物や施設を表す記号、田畑や果樹園を表す記号、道路や線路の記号、灯台など地図を見るときに目標となる記号など、さまざまな種類があります。これらの記号は、もとの形を表していたり、関連のある文字からできていたりといろいろな工夫がされています。

形からできた記号



針葉樹林

針葉樹林の地図記号は、スギなどの針葉樹の、木の全体を横から見た形です。



©PIXTA

関連のある物の形からできた記号



©PIXTA



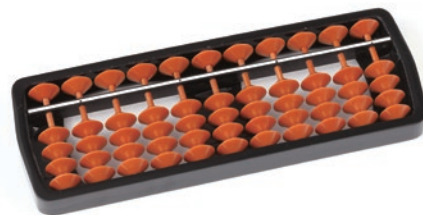
神社

神社の地図記号は、鳥居の形がもとになっています。



税務署

税務署の地図記号のものは、そろばんの玉の形です。



関連のない単純な図形からできた記号

すべての地図記号が、形や文字をもとにしているわけではありません。関連のない記号をあてているものもあります。

えんとつ



えんとつの地図記号は、けむりを上げているえんとつを横から見た形です。実物の形に近い地図記号です。



©PIXTA

鉄道



JRの線路は、白と黒が交互に並ぶ太い線で表すのが一般的です。まくら木が並ぶ線路を、上から見た形からできたものです。JR以外の鉄道の線路は、JRと区別するために、黒い線で表します。等間隔に縦の細い線が入る記号は、やはりまくら木を表しています。



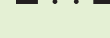
関連のある文字からできた記号

関連のある文字を図案化した地図記号もあります。小・中学校を表す記号のもとになっている文字は「文」です。寺院を表す記号は、仏教と関わりが深い「卍」の文字がもとになっています。

文	文	木	卍
小学校	小中学校	森林管理所	
公	官公署	卍	寺



市役所



都市・東京都の区界



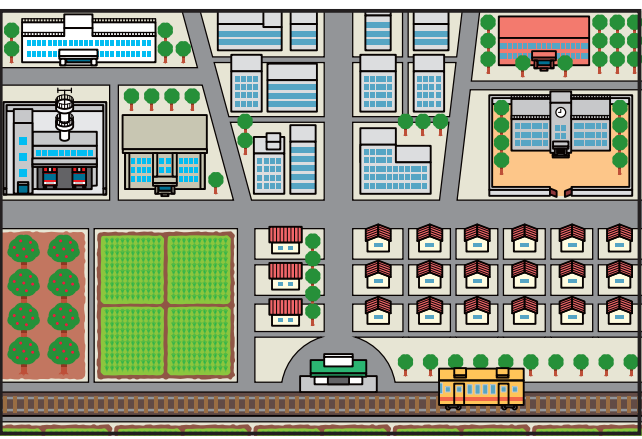
史跡・名勝・天然記念物

いろいろな建物を表す地図記号

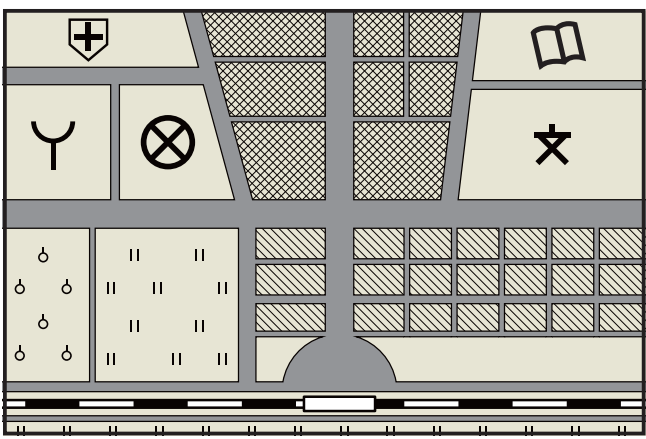
地図記号は地図によって変わりますが、ほとんどの地図で同じような記号を使っています。建物を表す地図記号は、公共施設などを表す一般的なもののほかに、いろいろ決められています。せまい範囲を大きく表す地図などの場合は、斜線などを引いて建物の高さを表すこともあります。

便利な地図記号

地図記号の中には、警察署や学校、河川、線路など、目印になるような便利な記号があります。それらを地図の中に見つければ、その地域を知らなくても、場所を探すときや、迷ったときに役立ちます。



絵で表した地図。かくのに時間がかかる。



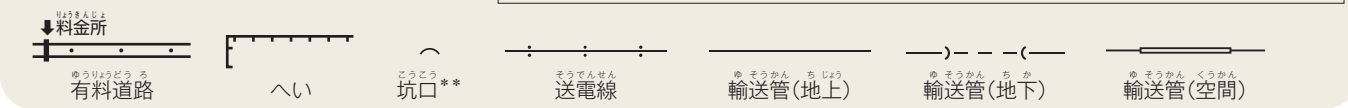
地図記号を使った地図。簡単にかくことができる。

公共施設などの建物・構造物



2006年に、全国の小中学生からの応募をもとに、風車と老人ホームの記号が加わった。2014年には、避難所、2019年には自然災害伝承碑の記号が追加された。

そのほかの構造物



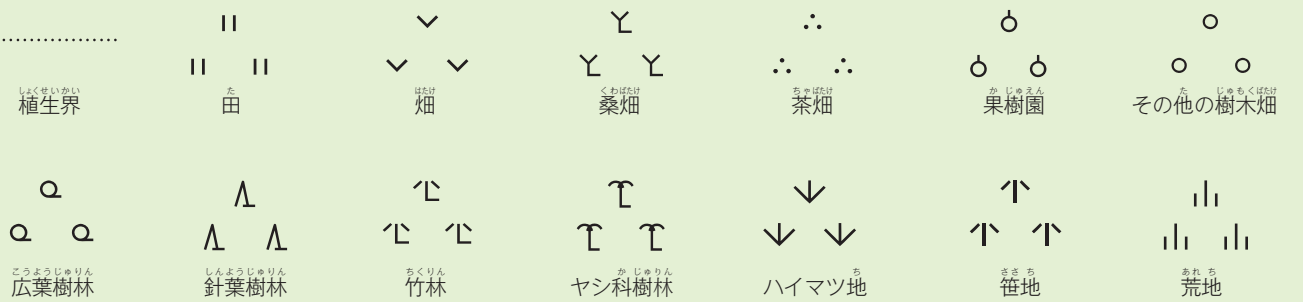
** 坑口…地下にほった通路(坑道)の入り口。

いろいろな地域を表す地図記号

特別な地域を表す地図記号もあります。「植生」の地図記号は、田んぼや畑のように作物を栽培している耕地や、同じ種類の植物が生えている土地などを表すものです。このほか、墓地や工場などの「特定地区」を表す地図記号もあります。

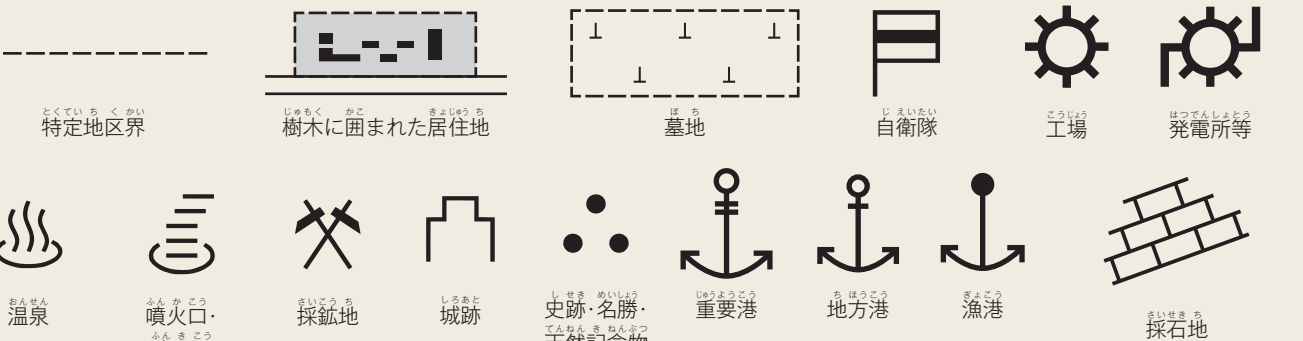
植生

植生の面積が75m×75m以下または50m×125m以下の場合には、地図記号を省略することができます。

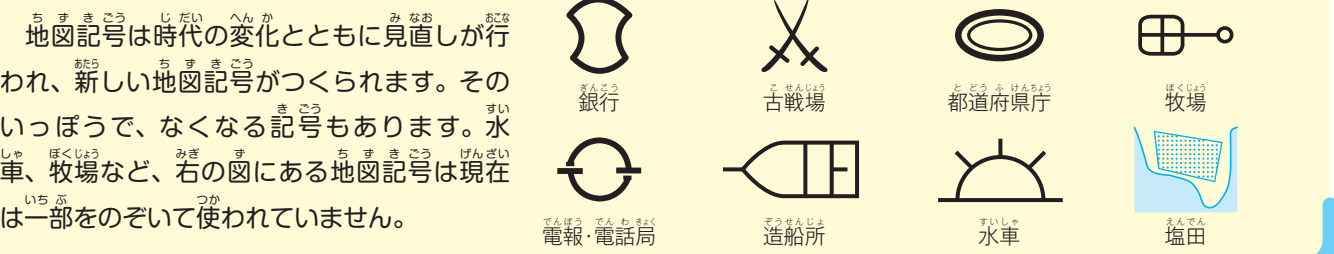


特定地区

ほかの地区と特に区別が必要と考えられる地区は、境界線(特定地区界)を引いて区切り、それぞれの地図記号をつけます。



なくなった地図記号



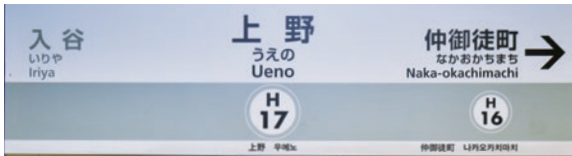
地図記号は時代の変化とともに見直しが行われ、新しい地図記号がつけられます。そのいっぽうで、なくなる記号もあります。水車、牧場など、右の図にある地図記号は現在一部をのぞいて使われていません。

鉄道路線図に使われている記号

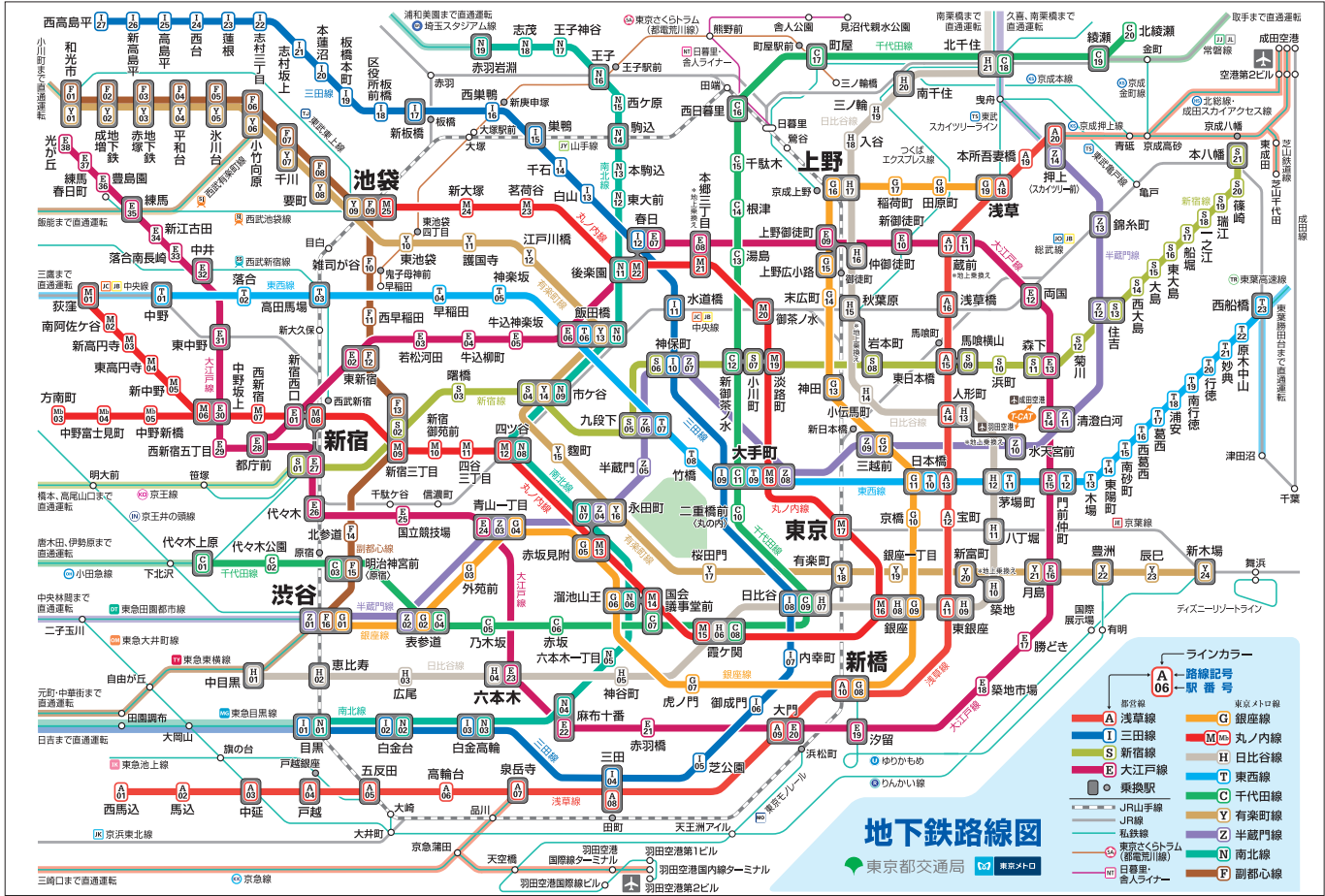
いろいろな鉄道が走っている都市部では、JR、私鉄、地下鉄などの鉄道が通り、複雑に入り組んでいます。鉄道路線図は、目的地までのルートや乗りかえる駅をわかりやすくするために、記号が使われています。東京の地下鉄は、路線や駅ごとに記号や番号を使った工夫が取り入れられています。

東京の地下鉄路線図の記号

東京には、東京メトロ、都営地下鉄合わせて13の地下鉄路線があります。ひと目でわかるよう、各路線を色分けしたり、駅に番号をつけ、駅の表示と路線図を対応させることで、わかりやすくしています。



↑東京メトロ日比谷線路線図。駅ごとに乗りかえできる路線がわかる。
 ↓駅ホームの駅名表示。路線の記号と駅の番号が書かれている。 東京メトロ

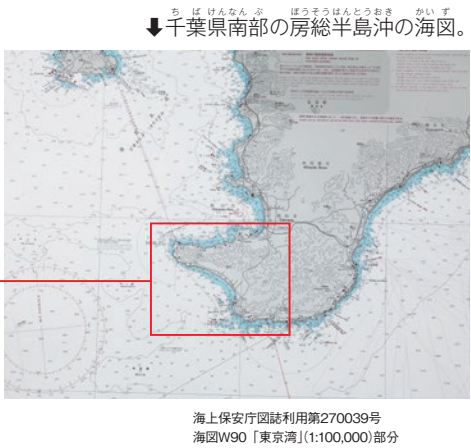
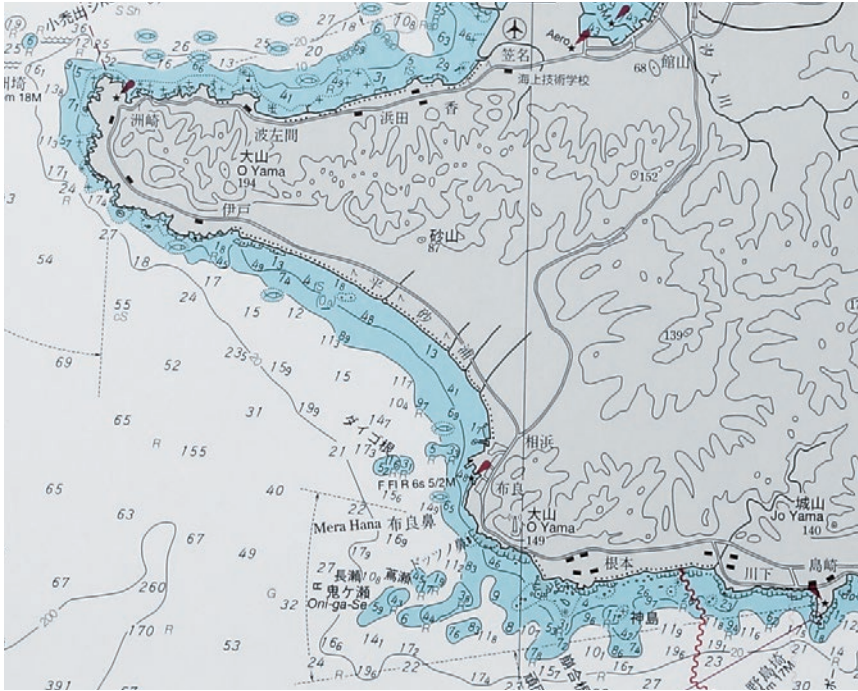


↑東京の地下鉄路線図（ナンバリング路線図）。路線は色と路線名の頭文字のアルファベットで分けられ、それぞれの駅には番号がつけられている。これにより、たとえば日比谷線（頭文字H）の六本木駅（O4）は、H-O4のように記号として表せる。

東京メトロ 東京交通局 承認番号 20191022

海図に使われている記号

海図というのは、海岸線や潮の流れ、海底の地形、灯台や浮標（ブイ）の位置などを表す地図です。船が安全に通行できるように、国際的に決められた記号に基づいた記号が使われています。海図を読み取ることで、海岸や海のようなすを知ることができます。



海岸線の記号

海岸線には、砂浜、石浜、がけなど、さまざまな地形があります。海図には海岸線の地形が記号で示されています。等高線だけではわからない地形を知ることができます。

急斜海岸



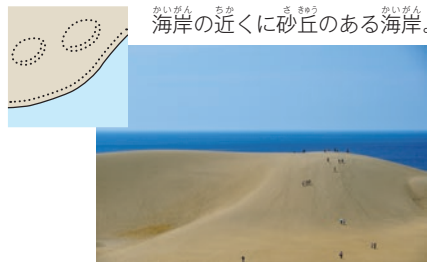
平坦海岸



がけ海岸



砂丘



石浜



砂浜

